

UTSURO-BUNE

空舟

大谷 安宏 *Yasuhiko Ohtani*

タンパー | 角正之 *Shoichi Tsunoda*・根付 | 和田 敦子 *Akiko Wada*

小坂 直敏 *Naomichi Ohsaki*

声 | ソプラノ | Sara Perez

Lake District for voice, soprano and electroacoustics

湖水地方ー声・ソプラノと電子音響のための

廣木 勇人 *Yuuji Hiraki*

映像 | 阿部 康太 *Kenta Abe*

undulation / floating organs

Makiginu-巻絹

宮本 朝子 *Asako Miyaki*

映像 | 小坂 淳 *Jun Kosaka*

Japanese Society for Electronic Music

第22回 日本電子音楽協会定期演奏会

2019.8.21 Wed.

18:00 open 18:30 start

入場料：一般 2,500円 学生 1,500円 ※当日券はプラス500円となります

【プレイガイド】リコーとび第2Fインフォメーション、コンチエルト

2019年8月21日(水) 18:00 開場 18:30 開演 りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館〈能楽堂〉

Projection coordinate : 岸本 智也 *Tomoya Kishimoto*

〈一二三松風〉 for a Shakuhachi and Computer

(hi fu mi matsuzakazé) for a Shakuhachi and Computer

福島 諭 *Yoshi Fukushima*

尺八 | 福島 麗秋 *Ryūko Fukushima*

Palimpsest

ソリニアセスト

波邊 裕美 *Yumi Namiwaki*

映像 | 渡邊 裕美 *Yumi Namiwaki*

Caldera

カランダラ

田口 雅之 *Masayuki Taguchi*

8/3(土)新潟市中央区の「蔵蔵」にてプレイベントを開催いたします。

日本電子音楽協会 (JSEM) 第22回定期演奏会プレイベント

「Augmented Music Lab ～拡張する音楽とその扱い方～」

8月3日(土) 15:00～17:00 (開場 14:30) 会場 | 蔵蔵 (新潟市中央区西堀前通 1-700)

入場料 | 無料 出演者 | 岸本 智也、廣木 勇人、田口 雅之 問 | info@jsem.com (TEL)



UTSURO-BUNE

空舟



作曲家、ギタリスト。コンピュータ・プログラミングによる音楽表現を専門として国内外にて発表。米国ロックフェラー財団日米芸術交流プログラム助成アーティストとして渡米。日本作曲家協議会会員、日本電子音楽協会会員。ICMC 2013 (International Computer Music Conference)、2013年アジア音楽祭シンガポール「Gu-topia」入賞。2015年アルスエレクトロニカ Ars Electronica 2016 / Forum Wallis入賞。2016年6月ニューヨーク・フィルハーモニー・ビエンナーレ New York City Electroacoustic Music Festival 作曲作品「Reverie」世界初演。



ダンサー
角正之
SUMISHI

振付
和田 敦子
Asako Wada

大谷 安宏

Yasuhiro Otani

Lake District for voice, soprano and electroacoustics

湖水地方 — 声・ソプラノと
電子音響のための



1978年、早大電気工学科修士了。同年電電公社(現NTT)入社。音響研究に従事する。作曲を故甲斐斐宗氏、田鎖大志郎氏に師事。1990年以降、自身の音合成研究の成果を生かして、モーフィング音やハイブリッドを用いた音楽の創作を行う。代表作はオーケストラのための「音の音」(2014)など。NTTコンピュータ音楽シンポジウム('97, '01)、Media Project('07-)他、コンピュータ音楽企画を多数実施。ICMC 1993および2003、2007入選。NYCEMF '15, '16, '19入選。博士(工学)。2003年より東京電機大学教授。



声・ソプラノ
Sara Perez

小坂 直敏

Naotoki Ozaka

undulation / floating organs



PAL名義での活動を中心に、ライフワークである山歩きや環境音採集、読書、アミニズム、米作りから着想を得て、つまずくステップや尖端音楽を組み立てる。2016年春にドラママシンのエラーを礼賛した自身初の音楽集「人の砂漠 ~Desert of Human being~」を発表。2017年盛夏には、シャーマニズム・呪術・少数民族・野草・採集音を潜ませた作品「Heimia / Calea」を発表した。



映像
阿部 康太
Kana Abe

廣木 勇人

Hayato Hiroki

〈一二三松風〉 for a Shakuhachi and Computer

〈hi fu mi matsu-kaze〉
for a Shakuhachi and Computer



1977年新潟生まれ。IAMAS修了。作曲家。2002年より、リアルタイムなコンピューター処理と演奏者との対話的な関係によって成立する作曲作品を発表。Mimiz, gpのメンバー。濱地潤一氏との共同作曲作品(空容の対象)は2009年元旦より開始され現在も進行中。賞歴に〈patrinia yellow〉第十八回文化庁メディア芸術祭アート部門優秀賞など。G.F.G.S.Label。作曲を三輪眞弘氏に師事。



尺八
福島 麗秋
Reiya Fukushima

福島 諭

Satoshi Fukushima

Palimpseste

パルンペステ



東京藝術大学大学院修士課程修了後渡仏、パンタン県立音楽院にて審査員満場一致の最優秀でDEMを取得し、同時にSACEMより奨学金が授与される。サン・ティエンヌ大学でコンピュータ音楽の職業修士課程を修了。主な受賞歴はMusica Nova 2017ミクス部門第1位、CCMC 2011にてACSM 116賞受賞、Banc d'eaasi 2013入選など。近年は幾何曲線を用いた音の空間投影のコントロール、及び音楽と映像・身体表現の連関などに関心を抱いている。

渡邊 裕美

Hiromi Watanabe

Caldera

カルデラ



新潟市在住の電子音楽家。デジタル音響合成を駆使した音作りと、アルゴリズムによって生み出される音律、旋律、リズムを組み合わせることで、新たな音楽領域の実現を図る。ANTI MUSIC、ハコラズモ、音空間創造プロジェクトといった活動に加え、水と土の芸術祭、徳島LEDアートフェスティバル、中之条ビエンナーレなどの芸術祭に参加。ライブパフォーマンスのほか、インスタレーション、ダンス、映像作品への楽曲提供も行う。

田口 雅之

Masayuki Taguchi

Makiginu-巻絹



sound artist / curator。東京大学大学院総合文化研究科超域文化科学専攻博士課程に在籍し電子音響音楽の知覚横断性について研究。高美学園大学芸術情報学部専任講師。近作:5.1chサラウンド音響作品(Afterimage) (「坂本龍一」設置音楽展 コンテスト)最優秀賞) (Hidden Garden) (共作/映像:馬場ふさこ 音楽:7.1chサラウンド / Jena, SAT FEST 2019, IMERSA 2019, ICMC / NYCEMF 2019入選, 第9回国際科学映像祭ショートフィルムコンテスト最優秀賞, International fulldome festival Best Art Show Prize 受賞)



映像
小阪 淳
Jun Koike

宮木 朝子

Aoko Miyuki

日本電子音楽協会 (JSEM)

1953年にドイツ・ケルンの放送局において音楽史上初めての電子音楽が公開されてからすでに半世紀が経過しました。その間に「電子音楽」という言葉は電子技術を用いた音楽/作曲の全く新しい領域を夢見た当時の歴史的な作品や理念を示す用語として使われるようになり、現在それらは、コンピュータ音楽、エレクトロ・アコースティック・ミュージック、さらにはメディア・アートにおける一領域としてのデジタル・ミュージックと呼ばれるようになってきました。

日本電子音楽協会は、電子音楽が生まれた当時の夢を21世紀の音楽芸術における新しい可能性へと広げるべく1992年に設立され、以来、作曲家、研究者、技術者らが集い、世界の視野に立った活動を行ってきました。(中略)日本電子音楽協会は、様々な専門分野の交流を通して、日々刷新されるテクノロジーと音楽・芸術の新しい関係を私達の社会に提案していく場として活動を続けています。

日本電子音楽協会「設立の理念」より抜粋



りょーとびら 新潟市民芸術文化会館 (能楽堂)

〒951-8132 新潟市中央区一番堀通町 3-2

http://www.nyutopia.or.jp

■白山公園駐車場のご案内



●白山公園駐車場A,B,C,D合わせて約580台
●身障者用駐車場スペースを用意しております。
●りょーとびらには専用の駐車場がありません。なるべく公共交通機関をご利用ください。なお、自家用車は上記の白山公園駐車場(有料)をご利用いただけますが、混雑する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

■会館のご案内



●新潟駅方出口より車で15分
●関越自動車道 / 磐越自動車道新潟中央ICより車で20分
●新潟駅方出口よりバスで15分~20分
●高代橋ライン(BRT)青山方面行「市役所前」下車 徒歩5分
●新潟交通より車で30分

UTSURO-BUNE

空舟

大谷 安宏 *Yasuhiko Ohtani*

歌手 | 内正之 *UCHIZUMI*・飯村 | 和田 敦子 *Akiko Wada*

Lake District for voice, soprano and electroacoustics

湖水地方 — ユー・ソプラノと電子音響のための

小坂 直敏 *Naomichi Ohsaka*

声 | ユー・ソプラノ | Sara Perez

undulation / floating organs

廣木 勇人 *Hiroyuki Hironaka*

歌者 | 阿部 康太 *Yasutaka Abe*

Makiginu-巻箱

宮本 朝子 *Asako Miyamoto*

歌者 | 小阪 淳 *Jun Ohsaka*

Japanese Society
for Electronic Music
松本電子音楽協会
定期演奏会
2019.8.21 Wed. 第22回
18:00 open 18:30 start

2019年8月21日(水) 18:00開場 18:30開演 りゅうとびあ 新潟市民芸術文化会館〈能楽堂〉

《一二三松風》for a Shakuhachi and Computer

笛 | 福島 諭 *Sanpei Fukushima*

尺八 | 福島 麗秋 *Ryūsei Fukushima*

Palimpsest

パルンパセスト

渡邊 裕美 *Hiromi Watanabe*

Caldera

カルデラ

田口 雅之 *Masayuki Taguchi*

Projection coordinate: 青木 智聡 *Tomoko Aoki*



Japanese Society for Electronic Music
日本電子音楽協会

ごあいさつ

Greetings

1992年に作曲家、研究者、技術者らによって設立された日本電子音楽協会(JSEM)は、今日まで27年の間、日々刷新されるテクノロジーと音楽／芸術との新しいあり方を社会に問い続けてきました。近年の情報技術の急速な発展とともに音楽表現も一層その幅を広げています。2015年ころからは、先端芸術音楽創作学会(JSSA)との協力体制を強化し、電子音響音楽に関する研究と創作を両輪の輪として、新たな活動展開にむけて基礎固めをしております。

JSEMは、国際交流も積極的に推進して参りました。日本を代表する電子音響音楽の創作・研究・発表のグループとして、在外作曲家の作品を定期演奏会にお招きしたり、ウィーン、リンツや北京で演奏会を開催、あるいは、国際電子音響音楽研究大会のホスト国として特別コンサートを開催するなど、交流成果はより幅広く、より深くなっています。

電子音楽、ミュージック・コンクレート、コンピュータ音楽、アコースモニウム、サウンド・パフォーマンスなど様々な名で呼ばれ、ヴァリエティに富んだ音楽スタイルを可能にした「電子音響音楽」は、今や特殊なものではなく、望めば誰もが実践できる身近な「音楽」になりました。そこで問われているのは、作曲家たちが新しいテクノロジーを「使った」音楽を創れるかどうかではなく、新しいテクノロジーの「中で」音楽そのものを新たに定義し直すことができるかどうかです。

今回は新潟市のりーとびあ(能楽堂)の特別な場に向けて七つの作品が提示されます。緻密な演算によって導かれた音響が楽器や人間の声と絡み合いながら特別な空間を創成していく作品や、映像やダンスとの刺激的な対話を展開させる作品など、能楽堂での上演を前提とする野心的な七作品が並びます。どうぞ最後までお楽しみください。

日本電子音楽協会 会長
水野 みか子

プログラム

Program

18:30 開演 | オープニングトーク

undulation / floating organs

廣木 勇人 *Hayato Hiraki* 映像 | 阿部 康太 *Kota Abe*

Caldera

カルデラ

田口 雅之 *Mayuki Taguchi*

《一二三松風》 for a Shakuhachi and Computer

《hi fu mi matsu-kaze》 for a Shakuhachi and Computer

福島 諭 *Satoshi Fukushima* 尺八 | 福島 麗秋 *Riyo Fukushima*

Palimpseste

パリンプセスト

渡邊 裕美 *Hiromi Watanabe* 映像 | 渡邊 裕美 *Hiromi Watanabe*

19:35 休憩

UTSURO-BUNE

空舟

大谷 安宏 *Yasuhiro Otani* ダンサー | 角 正之 *SUMISHI*・振付 | 和田 敦子 *Azuko Wada*

Makiginu-巻絹

宮木 朝子 *Asako Miyaki* 映像 | 小阪 淳 *Jun Kosaka*

Lake District for voice, soprano and electroacoustics

湖水地方 — 声・ソプラノと電子音響のための

小坂 直敏 *Naotomi Osaka* 声・ソプラノ | Sara Perez

20:40 エンディングトーク | 終演

野口三千三が原初生命体としての人間の中で記した「生きている人間のからだ、それは皮膚という生きた袋の中に、液体的なものがいっぱい入っていて、その中に骨も内臓も浮かんでいる」から着想を得る。

floating organsでは7つの内臓を選定し、身近にある内臓的なもの、特徴の似たものから音を集め、加工。6つのスピーカー+天井のスピーカーそれぞれに内臓的なものの音を割り当てる。配置に規則性はない。

対となるundulationではデジタルな手法を用いた。2つのオシレーターが生み出す純粋な純水のうねり。

映像ではアナログの土壌から違和感をそっと潜ませ、蒸発散の如く動的な解放と静的な緊張との間を行き来する。

1. floating organs

聴=枕とダウンジャケット | 心臓=水風船 | 横隔膜=自転車の空気入れ | 肝臓=竹炭と鮭寿司の竹 | 脾臓=重曹とクエン酸 | 胃=民芸おもちゃ | 大腸=登山用のマット

使用機材: Elektron Octatrack, Eventide Space, Sure Motive MV88, Iphone7

2. undulation

使用機材: Ableton Live Wavetable

3. f+u+skin

使用機材: 1+2+梱包材

廣木 勇人 Hayato Hiroki

1986年新潟生まれ。電子音楽家。ビートメーカー。10代の頃からアンダーグラウンドミュージックに傾倒し、2006年にPAL名義で音楽活動開始。red race riot、experimental roomなど前衛的な音楽イベントに参加。これまでに Lee Gamble、Helm、Kyoka、Lieven Martens Moana 等と共演した。2013年に、阿部康太・幸子氏との共作、過去と現在を映像と身体表現で繋ぐインスタレーション作品「対象・対極・非対応」を発表。2016年に、ハードウェアマシンのエラーを礼賛した自身初の音楽集「人の砂漠 "Desert Of Human being"」を発表。同年、福島諭氏の「室内楽2011-2015」のリミックスを担当する。2017年より、ハードウェアサンプラーを中心に添えた楽曲制作を開始。同年の盛夏、世界各地の少数民族音源のサンプリングと、自身のライフワークである山歩きや農作業の場で採集した音源を使用し、新たな民族音楽を想像した「Heimia / Calea」を発表。G.F.G.S.Label。

映像

阿部 康太

Kota Abe



1980年、新潟生まれ。会社員。高校卒業後、一年制の職業訓練校で電気工事を学ぶ。卒業後、電気工事会社に就職する。初ボーナスでMacを購入し、もともと興味があったグラフィックデザインを始める。友人らが主催するクラブイベントのフライヤーデザインを担当する。電気工事会社を5年で退職し、友人らが使っていたアトリエを工事し、ギャラリーとして運営する。店名は underground gallery N7 と命名。展示会、音楽イベント、美容店の広告、ロゴ等のデザイン、内装工事をギャラリー運営と並行して行い、ビデオレーターの編集を頼まれた事により映像編集もやるようになる。映像作品はN7の3周年に発表した HUKIN abstract paint、友人の死をきっかけに完成した HE is DEAD、インスタレーション企画展 対極 対極 非対応でその場で録音された音を使ってライブで編集された音楽、編集された映像を投影したキャンバスにライブペインティングをし、ライブとライブの対極にあるものを表現した作品などがある。好きな映像作家は Spike Jonze、Michel Gondry



Caldera

カルデラ

演奏会の会場であるリューとびあ能楽堂の形状から、私自身がカルデラの地形を連想したことが着想となりました。カルデラの底から沸き上がる、雄大で混沌とした自然界のエネルギーのようなものを、音と映像で表現することがこの作品の目的です。

制作には、音楽・マルチメディア用のプログラミングソフトウェアであるMaxを使用。素数や数列、アトラクタといった数学的な概念を取り入れ、音と映像の最終的な構築をアルゴリズムに委ねることで、恣意的な創作から一定の距離を置き、「人智の及ばない世界」を表現しようと試みています。一方、音や映像の基本要素には正弦波やドットなどのシンプルな素材を使用。また、6.1chからなる音響とそれに同期して動く映像によって、「流れ」そのものがより際立つように構成されています。

ぜひ、会場に渦巻くエネルギーの“流れ”を、空間全体と共に感じながらご鑑賞ください。

田口 雅之 Masayuki Taguchi

新潟市在住の電子音楽家。デジタル音響合成を駆使した音作りと、アルゴリズムによって生み出される音律、旋律、リズムを組み合わせることで、新たな音楽領域の実現を図る。

2005年に新潟大学教育人間科学部・芸術環境創造課程を卒業。その後は独自の音楽活動に加え、音空間創造プロジェクト、ANTI MUSIC、ハコラズモなどのグループでの創作活動や、新潟市水と土の芸術祭('09,'12,'15)、中之条ピエンナーレ('11)、徳島LEDアートフェスティバル('13)などの芸術祭に参加。また、ダンスや演劇、映像作品、インスタレーションへの楽曲提供を行う。

近年は音響映像作品の制作にも取り組んでおり、2015年には新潟市民映画館シネ・ウインドにて音響映像作品の上映会「Audio-Visual 共感覚のライフワーク」を主催、自身も作品を発表。また、2016年には手塚真監督、松崎友紀主演の短編映画「OKUAGA」の音楽を担当した。



《一二三松風》

for a shakuhachi and computer (2019)

《hi fu mi matsu-kaze》for a shakuhachi and computer (2019)

『波の音 聞(き)かじと山へ 入りぬれば 又色かい(へ)て 松風の音』(良寛)

江戸時代後期の僧侶 良寛(りょうかん:1758-1831)は現在の新潟県三島郡出雲崎町に生まれました。現在では歌人、漢詩人、そして書家としても知られています。40代後半には現在の燕市国上山(くがみやま)国上寺(こくじょうじ)の五合庵(ごごうあん)に移り住み自然の移ろいと一体となりながら書・歌を多く残されました。“足を知る”質素な生活を続けながら花や月など素朴な変化にありのままの視線を向けられる良寛和尚の優しく清らかな心の在り方には強く惹かれるものがあります。

私はかつて五合庵を独り訪れた際に、山ノ中にながら深い海のさざ波を聞いたような気になりました。松に強く吹きつける風の音が今も昔も変わらずそこ在ることに感慨を覚えると同時に、人の中に時に沸き上がるこうしたイメージの交換自体について改めて考えさせられました。そこに在る対象を何からの形で写し取ったとする場合、必ずそこには何らかの側面(時間や形状や音や)が失われています。逆にいえば、そうした何かが失われているものを通してしか、対象を捉えられないということなのかもしれません。そこには何が失われているのか、という見方が一つの大切な指標となっています。

福島 諭 *Satoshi Fukushima*

1977年、新潟生まれ。作曲家。新潟大学教育学部特別教科(音楽)教員養成課程卒業。IAMAS(岐阜県立情報科学芸術大学院大学)修了。2002年よりリアルタイムなコンピューター処理と演奏者との対話的な関係によって成立する作曲作品を発表。また、Mimiz. gpのメンバー。2008年より濱地潤一氏との室内楽シリーズの作曲を積極的に開始する。そのなかでも交換型共同作曲作品(変容の対象)は2009年元旦より開始されこれまでに120曲以上が作曲され現在も進行中である。これまでの主な作曲作品は自身によって詳細な作曲方法の解説と共に独自の楽譜に残されてきており、時間の中で展開される現象とその記録方法についての考察を続けている。2016年、G.F.G.SレーベルよりCD「福島諭:室内楽2011-2015」をリリース。日本電子音楽協会理事(2017年度)。作曲を三輪眞弘氏に師事。

[主な賞歴]

2006年 第一回 AACサウンドパフォーマンス道場 優秀賞

2011年 第六回 JFC作曲賞 入選

2014年 第十八回文化庁メディア芸術祭 アート部門 優秀賞

2017年「坂本龍一 | 設置音楽コンテスト」佳作

尺八

福島 麗秋

Reiyu Fukushima



1948年(昭和23年)生まれ。群馬県出身。新潟大学人文学部(法)卒。教職の道を進む。佐渡勤務の折、村松流尺八に出会う。その後、都山流尺八を学び准師範免許を取得、現在に至る。学校への邦楽出前授業、福祉施設慰問、岩室甚句など民謡の保存・伝承など、伝統音楽の普及発展に努めている。息子福島諭との競演など現代音楽への新たな可能性も模索している。このところ、世間と一線を画した良寛の自然を愛する生き方に、そして終生自らを厳しく律しつつも人間味溢れるその人柄に、強く惹かれる自分を見出している。越後国、国上山の麓の庵(五合庵・乙子神社草庵)の竹林、松林を吹き渡る風に魅了されている。

「わが雷の 竹の林を うち越して 吹きまくる風の せとの清さよ」(良寛)

Palimpseste

パリンプセスト

パリンプセストとは一度使った羊皮紙の表面を削り、その上に別の内容の文字を記した古文書である。文字を消したつもりでもその痕跡が残ってしまうことから、世間から隠されながらも引き継がれてきた記憶として小説の題材にもなってきた。現実にもアルキメデスの写本がパリンプセストとして存在し、数奇な運命をたどりながらも現代科学によって解説がなされ、その内容が白日のもとに晒されることとなった。

本作では、生成方法が異なる、または関連が薄いなどの理由によって、本来ならば時間や空間を共有しえないものを、存在の濃淡を変えることによって並行する世界線を共存させることを、音と映像の表現で試みた。

音素材は、パリンプセストの物質的な所以から膜状の物質と粘度の高い液体を中心にして不随意運動によるリズムを收音したものである。この記録された音をディレイやイコライジングなどによって音響の輪郭を曖昧にすることで、存在の濃淡を表現した。この音響は基本的にはチャンネルの静的な組み合わせによって拡声されるのに対し、同時にアンビソニックな音響空間において幾何曲線を描く動的な音響が重ねられる。

映像は発想として音響の逆相になっており、幾何曲線を描きながら、数学的な諸演算による動的な図形が重ねられる。



渡邊 裕美 *Hiromi Watanabe*

静岡県出身。東京藝術大学大学院音楽学専攻修士課程修了後、渡仏。パンタン県立音楽院にて審査員満場一致の最優秀で電子音響音楽のDEMを取得、同時にSACEMから奨学金が授与される。サン＝テティエンヌ大学コンピュータ音楽職業修士課程修了。繊細な色彩の移ろいが生み出す仮想的音響空間を求めて音楽制作を続けている。近年は幾何曲線を用いた音の空間投影のコントロール、及び音楽と映像・身体表現の連関などに関心を抱いている。

[主な賞歴]

Musica Nova 2017 ミクスト部門第1位(プラハ)

CCMC 2011にてACSM 116 賞受賞

INA-GRM 主催 Banc d'essai 2013 (パリ)

NYCEMF 2016、ICMC 2016 (ユトレヒト) に作品入選

フランスで活動する Ensemble Regards の作曲家兼サウンドデザイナーとして電子音響音楽作品や舞台作品の初演・再演に携わった。

hiromiwatanabe.com

UTSURO-BUNE

空舟

作曲、即興演奏、ダンスのための OPEN END (束縛のない自由) な仕組みを作るという方向性を考えました。エレキギターの演奏を、コンピュータのリアルタイム制御により構成する試みです。そのアイデアは、リズム、音響の表現への執着でもあります。試みとしては、発音から減衰して消えるまでの持続的な時間軸を、発音と応答速度に切り分けてコントロールし、音の奥行きと分離感を導き出すために、4つのスピーカを使って音響環境を構築します。

角正之氏とのダンスと音楽のコラボレーションは、1990年代後半から始まりました。インプロヴィゼーション(即興)というシチュエーションで試行錯誤の連続です。インプロヴィゼーションでは、カッコいい「デタラメ」がやれたら最高(!?)で、お互いに音に没入し、動きを感じ取るために、身体的な覚醒が求められます。演奏が始まり、音がどんな方向に進むのか、どんな音が鳴っているのか、そこでやっとな音が聴こえてくるわけですが、さらに、「こうやりたい」、「こっちに行きたい」、「あっちに行きたい」という欲望が溢れてきます。お互いに覚醒した状態で欲望に埋れて探りあっている状況があるわけです。強烈な欲望を感じる時に、演奏したいものが聴こえてくる。そういうやりとりがお互いに行けるということが何よりのよこびです。

振付、演出、衣装デザインは、和田敦子氏。能舞台の様式とダンスの形態について、繊細に考慮された総合演出です。

空舟(うつろふね)― 虚無の影

瘦男の背に鳥の影

我と我が身を啄む責め、現なき心の波間に漂う舟ひとつ、

いざ 空に放つ流離の纏綿

— 振付スケッチより引用

大谷 安宏 Yasuhiro Otani

作曲家、ギターリスト。コンピュータ・プログラミングによる音楽表現を専門として国内外にて発表。米国ロックフェラー財団日米芸術交流プログラム助成アーティストとして渡米。日本作曲家協議会会員。日本電子音楽協会会員。ICMC 2013(International Computer Music Conference)、2013年アジア音楽祭シンガポール「Gu-topia」入賞。2015年アルスエレクトロニカ Ars Electronica 2016 / Forum Wallis 入賞。2016年6月ニューヨーク・フィルハーモニー・ビエンナーレ New York City Electroacoustic Music Festival 作曲作品「Reverie」世界初演。

ダンサー

角正之
SUMISH



Dance Camp Project 代表 / Ton Placer Kazemai Theater プロデューサー、1989年埼玉国際創作舞踊コンクール奨励賞受賞「ヴォカリーズ」。1996年より音と動きの関係性を表現するシリーズを創造し、2010年国際交流プログラム Asian Body Tide (アジアの身体潮流)シリーズへと展開。国内外でアーティストとの共同ワークショップを実践。

振付

和田敦子
Atsuko Wada



法喜聖二、晶子に創作舞踊、五木田融、厚木凡人にモダンダンス、上月倫子にクラシックバレエを師事。国内外の舞踊公演に出演、作品を発表。2017年より、韓国インターナショナルコンペティションで審査員を務める。主な受賞歴 銀座博物館舞踊フェスティバル銅賞、姫路白鷺城フェスタダンスコンペティションひめが賞、韓国釜山国際映画祭「エンナの谷」4作品発表。



Makiginu-巻絹

「巻絹」-サラウンド音響と映像のための 音楽:宮木 朝子 映像:小阪 淳

「巻絹」とは、能の演目のひとつで、紀州の山中がその舞台である。帝がみる霊夢がきっかけとなるその物語は、巻絹を奉納する役を仰せつかった使者が、梅の香りに誘われその役割を中断してまで和歌を読むくんだりなど、香りと聖なる気配とに満たされつつ進行する。物語の見せ場では、和歌の持つ神秘的な力が、音無天神の霊がのりうつった巫女によって示される。そこで巫女は、和歌の徳を賛美しながら神がかりの状態で狂い舞う。

本作品は、この物語の持つ霊的気配をイメージの主軸にする一方で、「巻絹」という多肉植物の、白糸を身に纏ったその造形から導かれたイメージを電子音響と映像の構造の要素に取り入れて、複層的な時空間を提示する。絹の巻物、巫女の羽衣、巻絹の葉が纏う白糸の感触などの触覚的要素は、音響変調の際にも反映されている。能舞台の空間の中、身体が存在無しに、音と光の投影のみで、いかにこの多知覚的気配に満ちた物語を変換できるだろうか。主な音の素材は、ファルセットヴォイス (vo. Takuya Kanna)、女声 (vo. Yayoi Yura) その他金属系素材、環境音などを録音したもの、2018年2月キメ東洋美術館にて開かれたVOYAGES IMAGINESの委嘱作品制作時に、音源として提供された美術館所有の能の上演時の音源も一部使用している。

宮木朝子 Asako Miyaki



photo 奥山和洋

宮木 朝子 Asako Miyaki

桐朋学園大学音楽学部作曲理論学科作曲専攻卒、東京大学大学院総合文化研究科超域文化科学専攻修士課程修了、現在同大学院博士課程にて電子音響音楽の知覚横断性について研究をおこなう。尚美学園大学芸術情報学部専任講師、洗足学園音楽大学、早稲田大学非常勤講師。

近作: 感覚ミュージアム常設インスタレーション〈Shadow Rays 2013〉音楽(コンセプト)・映像: 奥村理絵、光像・音像・香像によるopera acousma#2 〈Teleceptor〉(2014) 構成・作曲、〈残像花〉(共作 / 映像: 馬場ふさこ 音楽: 5.1chサラウンドJena FullDome Festival 2015 Blau Blume Award受賞、ICMC2016入選) 5.1chサラウンド音響作品 〈Afterimage〉(「坂本龍一! 設置音楽展 コンテスト」最優秀賞) 〈Hidden Garden〉(共作 / 映像: 馬場ふさこ 音楽: 7.1chサラウンド / Jena, SAT FEST 2019, IMERSA 2019, ICMC / NYCEMF2019入選, 第9回国際科学映像祭ショートフィルムコンテスト最優秀賞, International fulldome festival Best Art Show Prize受賞) 〈Echolalia-for violin, electronics and video〉(映像: 小阪淳 Sweden-Japan Artistic Music Lab 2018 Concert 委嘱作品)

映像

小阪 淳

Jun Kosaka



美術家。1994年-2000年SFマガジン(早川書房)装画担当。2006年文化庁メディア芸術祭審査委員会推薦作品。2006年Sony Explora Science(北京)に4作品常設。2006年文部科学省「一家に一枚宇宙図2007」制作に参加。2007年カンヌ国際広告祭2007 Cyber Lions銅賞受賞。2009年より朝日新聞「論壇時評」にてCG作品連載。2011年東京都写真美術館「見えない世界のみつめ方」参加。2017年種子島宇宙芸術祭に参加。2019年Société des arts technologiques [SAT] EXPERIMENTAL ARTFILMS FOR THE FOYER OF THE SATOSPHEREにAudiovisual 作品 〈Echolalia II〉(音楽: 宮木朝子)が選出される。

Lake District for voice, soprano and electroacoustics (2017)

湖水地方 声・ソプラノと電子音響のための (2017)

この作品は、英国の詩人ワーズワースにゆかりの深い湖水地方の自然の印象を元に作られた。音声、特にわれわれにとって意味が直接的にわかりにくい外国語音声の響きを元に、その音韻の響きを音楽的要素と捉えて、この素材を加工、発展させることにより制作した。テキストは同詩人によるThorn (茨)よりⅢ、Ⅳ、Ⅴ節を引用した。この音韻の音楽的興味から創作している。

音響処理は、グラニューパー合成を主として、正弦波、FM音合成音によるサウンドコーラージュなどを用いた。また使用ツールは、Max/MSPと自作の音合成システム「おっきんしゃい」である。本年改訂版。

以下、3節のうち、Ⅲ、Ⅳのみテキストを紹介する。

Thorn III

High on a mountain's highest ridge,
Where oft the stormy winter gale
Cuts like a scythe, while through the clouds
It sweeps from vale to vale;
Not five yards from the mountain-path,
This thorn you on your left espy;
And to the left, three yards beyond,
You see a little muddy pond
Of water, never dry;
I've measured it from side to side:
'Tis three feet long, and two feet wide.

IV

And close beside this aged thorn,
There is a fresh and lovely sight,
A beauteous heap, a hill of moss,
Just half a foot in height.
All lovely colours there you see,
All colours that were ever seen,
And mossy network too is there,
As if by hand of lady fair
The work had woven been,
And cups, the darlings of the eye
So deep is their vermilion dye.

小坂 直敏 Naotoshi Osaka

1978年早大電気工学科修士了。同年電電公社(現NTT)入社。以来さまざまな音響研究に従事する。作曲を故 甲斐説宗氏、田鎖大志郎氏に師事。1990年以降、自身の音合成研究の成果を生かして、モーフィング音やハイブリッドを用いた音楽の創作を行う。代表作は「ピアノと二台のコンピュータのための「音の織物」(1998)、オーケストラのための「音の音」(2014)など。NTTコンピュータ音楽シンポジウム('97, '01)、Media Project('07-)他、コンピュータ音楽企画を多数実施。ICMC 1993および2003、2007入選。NYCEMF '15, '16入選。2002-2009年までICMA(国際コンピュータ音楽連盟)アジアオセアニア地区理事。博士(工学)。前先端芸術音楽制作学会(JSSA)会長。2003年より東京電機大学教授。

声・ソプラノ

Sara Perez



米国のソプラノ歌手。Oberlin大学・音楽院でラテン語専攻、カリフォルニア大サンディエゴ校でヴォイスパフォーマンス修士。伝統的なオペラから現代音楽まで幅広い経験を有す。また、サンディエゴオペラ、サンディエゴシンフォニー、サンディエゴ・パッハコレギウム、クリーブランドオーケストラ他、多数の団体と共演。また、Lewis Nielson, Joseph Waters, Anthony Davis, 小坂直敏氏ら現代の作曲家と親しい関係を築いている。

最近、全沢芸術村のレジデンスアーティストとして、2019年秋に北陸オペラで、グルックのオルフェオとエウリディーチェのエウリディーチェ役で出演予定。これまでに、魔笛からのババゲーナ役、Lewis Nielsonの「ルクレシアとシーザーの恋」のルクレシア役、ラヴェルの「子供と呪文」のベルジェレ役、「2階のリヤ王」のベルジェレ役出演。

お二人に寄せて

昨年度、私たちは私たちの大切な人を立て続けに失った。

松下 功氏(9月逝去)、岡崎 光治氏(12月逝去)のお二人である。

最近会員になられた方はご存じないかもしれないが、松下氏はJSEM発足の1992年から3年間、初代事務局長を務められている。会の運営が軌道に乗るまで、誰もが認めるその企画実行力、社交性などを買われてのことであった。JSEMの演奏会では作品は発表されていないが、本協会設立準備演奏会である「ELEM'91」(1991.10.7:サントリー小ホール)において、電子オルガンと打楽器のための作品が演奏されている。

東北といえば賢治、啄木、太宰がたちまち思い出されるだろうが、ここには是非とも岡崎光治を加えたい。氏は発足初年度からの会員であり、1995年から2008年まで理事を務められた(そういえば発足時「岡崎さんにも是非入ってもらおう」と声をかけられたのは松下さんではなかったか)。JSEMの演奏会を仙台に誘致するなど、現在東京以外のさまざまな所で演奏会を開催するようになった下地を作ってくれた。お忙しい中作品も毎回のように出品され、おそろく退会されるまで最多出場記録をお持ちではないかと思う。私事で恐縮だが、私は仙台の宮城学院女子大学で年に二度集中講義を行っていたことがあり、仙台に来るたびに岡崎さんと連絡をとりあい、杯を酌み交わしたものである。ある時など学院の副手室に電話があり、「今晚〇時、どこそこで」と伝言があったのには心底びっくりした。そういえば松下さんも無類のお酒好きで、彼と一緒したお酒の席も数限りない。今宵演奏される曲が、お二人への鎮魂曲となりますように……。

岩崎 真 Makoto Iwasaki



松下 功 Iiso Mannubita 1951～2018

東京芸術大学、及び同大学院にて作曲を南弘明、黛敏郎の各氏に師事。

1977年 日本音楽コンクール作曲部門(管弦楽曲)入賞。

1979年 ドイツ政府学術交流会(DAAD)給費生として、

ベルリン芸術大学にて伊伊桑氏に師事し、以後1986年

まで当時の西ベルリンに滞在し創作活動を行い、世界各地

の音楽祭で作品が演奏される。1985年 ドイツ・メン

ヒェングラード・パハ市国際作曲コンクール第1位。1986

年 入野賞受賞。帰国後、東京芸術大学、尚美学園短期

大学(現尚美学園大学)で教鞭を執る。2003年より東京

藝大演奏芸術センター助教授(後に教授)として、

2014年からは副学長として多数の企画公演を実現。

2016年 仏教伝道文化賞・沼田奨励賞受賞。ベルリン

時代から、邦楽器、書道、民族楽器、舞等「洋の東西・過

去と現代」という4つの方向性の融合を試みていた。アジ

ア各地との交流も深く、1990年以來、アジア音楽祭等を

通じて各地の伝統音楽・現代の作品等を紹介。2000年

以降は「祈り」をテーマとした作品を多数発表。2010年

以降は、小・中学生とのミュージカル作曲・初演や、藝大

「障害とアーツ」の企画等で学内外の様々な人々を招

いてイベントを行っていた。アンサンブル東風、カメラ

タ・ナガノ、文京区民オーケストラ等で長年指揮・指導。

主要作品：オペラ「信濃の国・善光寺物語」(遠藤使〜

安倍仲麻呂〜)〈長安悲恋〉

和太鼓協奏曲〈飛天遊〉(時の系Ⅱ(ピアノ協奏

曲)〈天空の祈り〜とうとご命に〜)他……



岡崎 光治 Mitsubaru Okazaki 1935～2018

1954年東北大学卒。日本作曲家協議会会員。

若松紀志子、福井文彦、島岡譲、田中信昭、ヘルムート・

リンクの各氏に師事。

宮城県芸術選奨、NHK東北ふるさと賞、宮城県教育文

化功労賞、仙台市市政功労者表彰、文部科学省地域文

化功労者表彰などを受賞。東北大学創立100周年記念

に「東北大学祝典曲—私たちは進む—」を作曲のほか、

東北大学ホームカミングデー記念コンサートでは初回

(2009年)以来、音楽監督を務める。

主要作品：「ジュラ紀」テープとピアノのための。

オペラ「鳴砂」。

オーケストラのための「録曲」I、II。

ミュージカル「炎の迷宮」、「甦れ美し郷」、「大路が辻」。

カンタータ「サンファンパウティスタ号讃歌」。

カンタータ「魂の坑道は果てしなく」。

ソプラノとオーケストラのための鎮魂曲「モニュメント」。

コンピューターと打楽器のための「打の彩-VI」。

宮城国体のための序曲「新しい時の渚から」。

ピアノと3台のシンセサイザーのための「Phantasmagoria-III」。

「情景-II」-ピアノのための。

「W.K.先生の肖像」-I、II、III。

混声合唱組曲「花が咲いたら」。

男声合唱組曲「心に翼を」。

アルトサクソフォンとピアノのための「ハデス」など。

なお、オペラ「鳴砂」は2011年度新国立劇場地域招聘

日本電子音楽協会コンサートアーカイブ

	作曲家 Composer	作品名 Title of the piece / translation or transliteration of the title	上演形態	共同制作者 collaborator	演奏者 performer	
21	日本電子音楽協会 創立20周年記念事業 「時代を超える電子音楽」 コンサートとシンポジウム コンサート 「騒音芸術百年」 2013.3.6(水) 会場: アートスクエアホール 【協力】 アサヒビール株式会社	大谷 安宏 OTANI Yasuhiro	Gu-topia ~ギターによる音響音楽~	Solo Instrument + Electronics		electric guitar: 大谷 安宏 electric guitar: OTANI Yasuhiro
		岡本 大典 OKAMOTO Daisuke	concerto 1 ~全管楽器&ノイズ~	Solo Instrument + Electronics		trumpet: 岡本 大典 trumpet: OKAMOTO Daisuke
		佐藤 聖矢子 SAITO Ayako	緑の記憶 ~電子音響音楽~	Audiovisual Work	映像: 原 沙織 video: HARA Saori	
		シニギフ(高橋 寛幸, 松井 茂) Shinigufu(HAYASHI Hiroyuki, MATSUI Shigeo)	Roadside Picnic ~サウンド音響+映像~	Audiovisual Work	映像: 加藤 直輝 video: KATO Naoki	
		古澤 彰 FURUSAWA Akira	Electronic Interaction 2013 ~ライブパフォーマンス~	Ensemble + Electronics		trumpet: 長谷部 守 trumpet: HASEBE Mamoru trombone: 岡田 大和 trombone: OKADA Taiho
	安野 太郎 YASUNO Taro	ソルビ音楽 ~リコーダー演奏機械(ソルビ)による~	New Interface + Electronics			
22	日本電子音楽協会 創立20周年記念事業 「時代を超える電子音楽」 コンサートとシンポジウム コンサート 「不易流行~ JSEMから未来へ~」 2013.3.7(木) 会場: アートスクエアホール 【協力】 アサヒビール株式会社	若崎 真 IWASAKI Makoto	Aria	Fixed Media		
		南 弘明 MINAMI Hirosaki	語りと電子音による「異世界の糸」	Fixed Media		
		松井 昭彦 MATSUI Akihiro	Nature	Fixed Media		
		水野 みか子 MIZUNO Mikako	MS-aki ヴァイオリンとコンピュータのための	Solo Instrument + Electronics		violin: 中川 さと子 violin: NAKAGAWA Satoko
		由謙 正悟 YOSHINO Masatsune	continuo No.4 クラリネットとコンピュータのための	Solo Instrument + Electronics		clarinet: 高江 英穂子 clarinet: MITSUE Naho
		石井 結実 ISHII Yūki	SHINRA	Acousmatic and Spatial Music		
	福島 諭 FUKUSHIMA Satoshi	BUNDLE IMPACTOR	Ensemble + Electronics		clarinet: 伊藤 めぐみ clarinet: ITO Megumi clarinet: 櫻田 はるか clarinet: SAKURADA Haruka oboe: 山口 郁加 oboe: YAMAGUCHI Yuka alto saxophone: 濱地 潤一 alto saxophone: HAMAZI Junichi	
23	日本電子音楽協会 創立20周年記念事業 「時代を超える電子音楽」 コンサートとシンポジウム レクチャーとシンポジウム 「日本の電子音楽 ~60年の歴史的検証~」 2013.3.8(金) 会場: アートスクエアホール 【協力】 アサヒビール株式会社	レクチャー 「NHK電子音楽スタジオ~音の始原を求めて~」佐藤 茂(元NHK音響技術) 「電子楽器開発の成功と失敗」則安治男(元MIDI規格協議会会長)	・シンポジウム「日本の電子音楽~60年の歴史的検証~」 司会: 道行 酒岡純彦 パネリスト: 川崎弘二, 沼野誠司, 水野みか子			
24	第18回定期演奏会 電力芸術演奏会 2013.12.8(日) 会場: 名古屋電気文化会館 5階イベントホール	門脇 治 KADOWAKI Osamu	ドップラー-電源幻想曲/Fantasia provision Doppleriana	Generative audio and Spatial Music		computer operation: 門脇 治 computer operation: KADOWAKI Osamu
		大谷 安宏 OTANI Yasuhiro	beyond a shadow of energy	Solo Instrument + Electronics		electric guitar: 大谷 安宏 electric guitar: OTANI Yasuhiro
		岡本 大典 OKAMOTO Daisuke	独愴の風 / alone with the wind	Solo Instrument + Electronics		baritone horn: 岡本 大典 baritone horn: OKAMOTO Daisuke
		横井 聖司 YOKOI Seiji	Motet 2013	Solo Instrument + Electronics		soprano: 平瀬 悦子 soprano: HIRAYASU Etsuko
		フェルマント兄弟 Fornant Brothers	夢のワルツ / Yume no Waltz	New Interface + Electronics		MIDI accordion: 岡野 勇仁 MIDI accordion: OKANO Yūjū
		水野 みか子 MIZUNO Mikako	カイヤクル / Kaymakul	Solo Instrument + Electronics		guitar, speaker stand: フェルマント兄弟 guitar, speaker stand: Fornant Brothers
		福島 諭 FUKUSHIMA Satoshi	Monocarbic Electra	Live Electronics		computer operation: 福島 諭 computer operation: FUKUSHIMA Satoshi
	中川 善裕 NAKAGAWA Yoshio	「空中遊戯」エレクトリックギターと電子音響のための "Air Condo II" for electric guitar and electroacoustics	Solo Instrument + Electronics		electric guitar: 中川 善裕 electric guitar: NAKAGAWA Yoshio	
25	電子音楽なう! vol.3 2014.7.12(土) 会場: CAP CLUB Q2 【主催】 C.A.P.(芸術と計画会議)、 日本電子音楽協会(JSEM) 【協賛】 株式会社ジーベック 【協成】 公益社団法人企業メカナ協賛会	石上 和也 ISHIGAMI Kazuya	音作シシシシ "HOGE HOGE MACHINE"による即興演奏	Live Performance + Electronics		performer: 石上 和也 performer: ISHIGAMI Kazuya
		鹿川 朝道 IZUKAWA Shidou	泉川 朝道	Solo Instrument + Electronics		shakuhachi: 鹿川 朝道 shakuhachi: IZUKAWA Shidou
		大谷 安宏 Otani Yasuhiro	guitar/beat	Solo Instrument + Electronics		electric guitar: 大谷 安宏 electric guitar: OTANI Yasuhiro
		門脇 治 KADOWAKI Osamu	テープのための音楽	Live Performance + Electronics		performer: 門脇 治 performer: KADOWAKI Osamu
		中川 善裕 NAKAGAWA Yoshio	variations of the sea	Live Electronics		computer operation: 中川 善裕 computer operation: NAKAGAWA Yoshio
		林 恭平 HAYASHI Kyūhei	謀	Solo Instrument + Electronics		instruments: 山田 あい子 instruments: YAMADA Aiko
		平山 純花 HIRAYAMA Junko	Friskoto	Live Electronics		computer operation: 由謙 正悟 computer operation: YOSHINO Masatsune
	RAKASU PROJECT.(澤 男子) RAKASU PROJECT.	増ノ浦	Live Performance + Electronics		performer: RAKASU PROJECT.	

	作曲家 Composer	作曲名 Title of the piece / translation or translatation of the title	上演形態	共同制作者 collaborator	演奏者 performer
26	水野 みか子 MIZUNO Mikako	Trace the City	Live Electronics		computer operation : 水野 みか子 computer operation : MIZUNO Mikako
	吉原 太郎 YOSHIHARA Taro	鼓間 - Aperture I	Acousmatic and Spatial Music		acousmonium player : 吉原 太郎 acousmonium player : YOSHIHARA Taro
	大谷 安室 OTANI Yasuhiro	Metallic Strings	Solo Instrument + Electronics		electric guitar : 大谷 安室 electric guitar : OTANI Yasuhiro
	石上 和也 ISHIGAMI Kazuya	YAOYOROZU 8ch-ver	Live Electronics		computer operation : 石上 和也 computer operation : ISHIGAMI Kazuya
	渡辺 愛 WATANABE Ai	Voyage à travers la décennie - version électroacoustique	Acousmatic and Spatial Music		acousmonium player : 渡辺 愛 acousmonium player : WATANABE Ai
	佐藤 聖矢子 SATOH Ayako	霧に風窓	Acousmatic and Spatial Music		acousmonium player : 佐藤 聖矢子 acousmonium player : SATOH Ayako
みみづ (鈴木 悦久, 福島 諭, 飛谷 謙介) MMZ (SUZUKI Yoshitaka, FUKUSHIMA Satoshi, TOBITANI Kensuke)	November Session(2014)	Live Performance + Electronics		performer : みみづ (鈴木 悦久, 福島 諭, 飛谷 謙介) performer : MMZ (SUZUKI Yoshitaka, FUKUSHIMA Satoshi, TOBITANI Kensuke)	
27	大久保 雅基 OKUBO Masaki	はーもないぞう	Solo Instrument + Electronics		pipe organ : 今村 初子 pipe organ : IMAMURA Hatsuko
	林 恭平 HAYASHI Kyohei	刺青	Solo Instrument, Acousmatic and Spatial Music		pipe organ : 石丸 由佳 pipe organ : ISHIMARU Yuka
	佐藤 聖矢子 SATOH Ayako	八月, 青い緑	Acousmatic and Spatial Music		acousmonium player : 佐藤 聖矢子 acousmonium player : SATOH Ayako
	中川 善裕 NAKAGAWA Yoshitomo	The seven seas and the sun for electroacoustics	Live Electronics		computer operation : 中川 善裕 computer operation : NAKAGAWA Yoshitomo
	渡辺 愛 WATANABE Ai	Moderato cantabile	Solo Instrument, Acousmatic and Spatial Music		pipe organ : 石丸 由佳 pipe organ : ISHIMARU Yuka acousmonium player : 渡辺 愛 acousmonium player : WATANABE Ai
	門脇 治 KADOWAKI Osamu	愛 - 独歌 - 独習2.1	Solo Instrument + Electronics		pipe organ : 今村 初子 pipe organ : IMAMURA Hatsuko
	土屋 雄 TSUCHIYA Takeshi	I have not but I am and as I am, I am ...	Solo Instrument + Electronics		pipe organ : 石丸 由佳 pipe organ : ISHIMARU Yuka
28	福島 諭 FUKUSHIMA Satoshi	春, 十五夜	Ensemble + Electronics		oboe : 山口 裕加 oboe : YAMAGUCHI Yuka clarinet : 鈴木 生子 clarinet : SUZUKI Riko clarinet : 伊藤 めぐみ clarinet : ITO Megumi clarinet : 櫻田 はるか clarinet : SAKURADA Haruka alto saxophone : 濱地 潤一 alto saxophone : HAMAJI Junichi
	宮本 朝子 MIYAMO Aiko	未構築の場所 / Unbuilt Place	Solo Instrument + Electronics		pipe organ : 室屋 葉子 pipe organ : MUROZUMI Makiko
	高岡 明 -JSSA- TAKAGAKI Akira	Responsorium	Solo Instrument + Electronics		soprano : さかい れいしう soprano : SAKAI Reishu
	水野 みか子 -JSSA- MIZUNO Mikako	das dash!	Solo Instrument + Electronics		pipe organ : 室屋 葉子 pipe organ : MUROZUMI Makiko
	三輪 寛弘 フォルマント兄弟 MITSU Masahiro Fomant Brothers	フォルマント兄弟の, G.B.ベルゴレーン作曲 「恋しみの節句」オルガン伴奏版 +独唱曲「話れよ, わが友よ」も「新しい時代」	Ensemble + Electronics		pipe organ : 今村 初子 pipe organ : IMAMURA Hatsuko soprano : さかい れいしう soprano : SAKAI Reishu MIDI accordion : 田野 勇仁 MIDI accordion : OKANO Yuiji
	マルク・バティエ -JSSA- Marc BATTIER	Constellation2	Solo Instrument + Electronics		koto : 野村 祐子 koto : NOMURA Yuko
	成木 理香 NARIMOTO Rika	The Sealed Forest II for flute and electroacoustics	Solo Instrument + Electronics		flute : 丹下 聡子 flute : TANIGE Satsuki
Molecule Plane (大塚 勇樹) Molecule Plane	Acousticophilia	Live Performance + Electronics		performer : Molecule Plane(大塚 勇樹) performer : Molecule Plane	
門脇 治 KADOWAKI Osamu	オーロラ #2.5	Live Performance + Electronics		performer : 門脇 治 performer : KADOWAKI Osamu	
29	RAKASU PROJECT. (薄 美子) RAKASU PROJECT.	見えない音	Live Performance + Electronics		performer : RAKASU PROJECT.(薄 美子) performer : RAKASU PROJECT.
	石上 和也 +かつふじ たまこ +奥川 勲道 ISHIGAMI Kazuya + KATSUFUJII Tamako + OKUAWA Shidou	Wabient Sabient - 俺げ録と 暇げ録と - ver0.0	Live Performance + Electronics		performer : 石上 和也 +かつふじ たまこ +奥川 勲道 performer : ISHIGAMI Kazuya + KATSUFUJII Tamako + OKUAWA Shidou
	由緒 正博 YOSHINO Masamune	Air No.3 for Leap-motion and Max (2016)	Live Performance + Electronics		performer : 由緒 正博 performer : YOSHINO Masamune
	電子音楽なう! vol.5 in 大阪 2016.3.18(金) 会場: Namba BEARS				

	作曲家 Composer	作曲名 Title of the piece / translation or transliteration of the title	上演形態	共同制作者 collaborator	演奏者 performer
30	大谷 安宏 OTANI Yasuhiro	Reverie #4 for solo Electric Guitar and programming	Solo Instrument + Electronics		electric guitar: 大谷 安宏 electric guitar: OTANI Yasuhiro
	門脇 治 KADOWAKI Osamu	失われた声を探して À la recherche de la voix perdue - 管楽器とコンピュータのための	Solo Instrument + Electronics		alto saxophone: 門脇 治 alto saxophone: KADOWAKI Osamu
	仲井 朋子 NAKAI Tomoko	curvaceousness for multi-channel audio	Generative audio and Spatial Music		computer operation: 仲井 朋子 computer operation: NAKAI Tomoko
	林 恭平 HAYASHI Kyohhei	電子音響映画「Lemon Candy(Moon Down Action)」	Audiovisual Work, Acoustic and Spatial Music		acousmionium player: 林 恭平 acousmionium player: HAYASHI Kyohhei
	水野 みか子 MIZUNO Mikako	Lipochrome - ピアノとエレクトロニクスのための	Solo Instrument + Electronics		piano: 坂口 仁高 piano: SAKAGUCHI Renaka
	宮木 朝子 MIYAKI Asako	Landscape_Montage_Technique[visual] for video acoustical	Audiovisual Work, Acoustic and Spatial Music	映像: 馬場 小三子 video: BABA Fumiko	acousmionium player: 宮木 朝子 acousmionium player: MIYAKI Asako
	幽藤 正悟 YOSHIO Masatsune	過ぎた時間 - クラリネットとコンピュータのための	Solo Instrument + Electronics		clarinet: 渡江 菜穂子 clarinet: MITSUE Nahoko
ルドガー・ブリュンマー -招待作品- Ludger BRÜMMER		deconstructing double district for 8-channel audio and video	Audiovisual Work	映像: 7チャンネル・ハイビジョン video: Viller KUCHELMEISTER	
		Spin for 8-channel audio and video	Audiovisual Work	映像: ヘルント・リンターマン video: Bernd LINTERMANN	
31	鈴木 悦久 SUZUKI Yoshio	GRAIN	Solo Instrument + Electronics		kalimba: 鈴木 悦久 kalimba: SUZUKI Yoshio
	渡辺 愛 WATANABE Ai	esquisse 2017	Fixed Media		
	アレックス・シグマン Alexander SIGMAN	detritus II	Audiovisual Work		
	林 恭平 HAYASHI Kyohhei	Sunflower	Audiovisual Work		
	宮木 朝子 MIYAKI Asako	Hidden Garden	Audiovisual Work		
32	林 恭平 HAYASHI Kyohhei	Iris Mugen Sky	Fixed Media [4.1ch]		
	大久保 雅基 OKUBO Masaki	sd.mod.live	Multimedia Works		snare drum: 関 聡 snare drum: SEKI Satoshi
	佐藤 夏矢子 SATO Ayako	軋心、彩々	Dancer + Fixed Media [4.1ch]		dance: 原 千夏 dance: HARA Chikatsu
	渡辺 愛 WATANABE Ai	Daydream	Audiovisual Work	映像: 宮崎 了哉 video: MIYAZAKI Shuichi	
	仲井 朋子 NAKAI Tomoko	Toukamon-inari	Fixed Media [4.1ch]		
	土屋 謙 TSUCHIYA Takeshi	拡張されたピアノのための映像	Audiovisual Work, Solo Instrument + Electronics		piano: 川村 恵里佳 piano: KAWAMURA Erika
33	水辺 慎一郎 -招待作品- MIZUNUMA Shinichiro	トッカータ II / Toccata II	Audiovisual Work		
	桃井 梨司 MOMOI Riji	Re-Rhythm	Solo Instrument + Electronics		percussion: 富岡 尊祐 percussion: TOMOKA Munehito
	林 恭平 HAYASHI Kyohhei	掃羽受信機恋愛 / Sunrise Shadow	Audiovisual Work		
	門脇 治 KADOWAKI Osamu	ロリポップ / Rolipop	Live Electronics		computer operation: 門脇 治 computer operation: KADOWAKI Osamu
	高野 大夢 TAKANO Daemu	Skew Position (live version)	Live Electronics		computer operation: 高野 大夢 computer operation: TAKANO Daemu
	大久保 雅基 OKUBO Masaki	sd.mod.live	Multimedia Works		snare drum: 関 聡 snare drum: SEKI Satoshi
34	鈴木 悦久 SUZUKI Yoshio	ピアノの練習	Computer-aided Acoustic Composition		Piano: 大井 浩明 Piano: OOI Hiroaki
	仲井 朋子 NAKAI Tomoko	ちりめん	Generative audio and Spatial Music		computer operation: 仲井 朋子 computer operation: NAKAI Tomoko
	安藤 大地 ANDO Daichi	Sandcomber for EWI wind-synthesizer and computer	Solo Instrument + Electronics		EWI wind-synthesizer: 尾崎 朝子 EWI wind-synthesizer: OSAKI Tomoko
	幽藤 正悟 YOSHIO Masatsune	セクシープライムズ	Computer-aided Acoustic Composition		Piano: 大井 浩明 Piano: OOI Hiroaki
	林 恭平 HAYASHI Kyohhei	ナイチンゲール	Audiovisual Work		
	大久保 雅基 OKUBO Masaki	vi.mod.live	New Interface + Electronics		computer operation: 大久保 雅基 computer operation: OKUBO Masaki
水野 みか子 MIZUNO Mikako	リゴクローム (改訂版)	Solo Instrument + Electronics		Piano: 大井 浩明 Piano: OOI Hiroaki	

日本電子音楽協会 会員

会 長	水野 みか子 (名古屋市立大学大学院教授)			
副 会 長	三輪 眞弘 (IAMAS 情報科学芸術大学院大学教授) 古川 聖 (東京芸術大学教授)			
事務局長	由雄 正恒 (昭和音楽大学准教授)			
理 事	鈴木 悦久	福島 諭	宮木 朝子	渡辺 愛
会計監査	森 威功	山田 香		
名誉会長	南 弘明 (東京芸術大学名誉教授)			
名誉会員	則安 治男 (元 MIDI 規格協議会会長) 松井 昭彦 (愛知県立芸術大学名誉教授)			
正 会 員	安藤 大地 岩崎 真 大塚 勇樹 落 晃子 齊藤 瑛梨奈 千住 明 土屋 雄 長嵩 寛幸 檜垣 智也 毛内 彩子 山本 雅一	石井 絃美 岩下 哲也 大野 真帆 かつふじたまこ 酒井 国作 高野 大夢 豊住 竜志 成本 理香 平山 晴花 桃井 聖司 吉原 太郎	石上 和也 大久保 雅基 おかもと だいすけ 門脇 治 佐藤 亜矢子 田口 雅之 仲井 朋子 西岡 龍彦 廣木 勇人 安川 徹 米本 実	泉川 秀文 大谷 安宏 小坂 直敏 後藤 英 柴山 拓郎 田村 文生 中川 善裕 林 恭平 水沼 慎一郎 安野 太郎 渡邊 裕美
学生会員	上野 壽久	長田 大夢	根岸 藍	
特別会員	川崎 弘二	沼野 雄司		

Special Thanks



プロジェクト 岸本 智也 *Tomoya Kishimoto*

新発田市出身。プロジェクト・ディレクター。2002年よりプロジェクトを多用した映像空間演出やコーディネートを中心に、屋内外のイベントや展示、インスタレーション作品等における映像デザイン、システム構築、設営、オペレーションまで多岐にわたり活動している。

